

第74回公開講座 2022年 9月10日/17日/10月8日/22日

地域でつくる/地域をつくる メディア



会場/本学1号館1階1101教室

時間/13:30~15:30

コーディネーター 松本 恭幸<本学社会学部教授>

第1回
9/10(土)

武蔵大学を拠点にした学生による メディア活動

講師 松本 恭幸<本学社会学部教授>

第2回
9/17(土)

福島を忘れない —江古田映画祭はどう育ってきたか—

講師 永田 浩三<本学社会学部教授>

第3回
10/8(土)

商店街メディア —ハッピーロード大山商店街の事例をもとに—

講師 牛山 佳菜代<目白大学メディア学部教授>

第4回
10/22(土)

コロナ禍と市民メディア —みらくるTVの事例をもとに—

講師 兼古 勝史<放送大学千葉学習センター客員准教授>

【受付期間】 2022年7月22日(金)~8月25日(木) 定員/先着140名

【受講料】(全4回) 2,000円(一般) 500円(武蔵大学在学学生父母、武蔵学園卒業生) 無料(高校生、在学生*)

*在学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、研究生、練馬区特別履修生を指します。

【支払方法】 受講初回に、会場の受付にて現金でお支払いください。

【申込方法】 裏面をご覧ください。



経済学部
人文学部
社会学部
国際教養学部



MUSASHI
UNIVERSITY

武蔵大学

許可なく転載することを禁止します。

9/10(土)

武蔵大学を拠点にした学生によるメディア活動

講師：松本 恭幸（まつもと やすゆき） 本学社会学部教授

武蔵大学社会学部メディア社会学科教授。著書は『コミュニティメディアの新展開—東日本大震災で果たした役割をめぐって』（学文社）、『令和のローカルメディア—防災・関係人口拡大に向けた課題』（共著、あけび書房）、『地域でつくる・地域をつくるメディアとアーカイブ』（編著、大月書店）など。

武蔵大学では社会学部メディア社会学科の学生達が、全国各地の様々な地域づくりの現場取材し、その内容をCATVのコミュニティチャンネルの番組にして放送するとともに、そうした地域づくりに携わる方をゲストに招き、コミュニティFMやインターネット放送のトーク番組を制作して配信しており、そうした大学を拠点にした学生達の活動について紹介します。

9/17(土)

福島を忘れない 一江古田映画祭はどう育ってきたか

講師：永田 浩三（ながた こうぞう） 本学社会学部教授

江古田映画祭実行委員会代表。武蔵大学社会学部メディア社会学科教授。学生たちとともに映像の制作や歴史について学んでいる。元NHKプロデューサー。映画監督として『命かじり』『闇に消されてなるものか』を制作。著書は『ヒロシマを伝える』『NHKと政治権力』など多数。現在『原爆と俳句』（仮題）を執筆中。表現の不自由展共同代表。

来年は12回目を迎える江古田映画祭。自分たちで映画を制作したり、外国映画に独自の日本語字幕をつけるなど、ユニークな活動が目撃されています。原発・核兵器・環境汚染などを描いたドキュメンタリー映画を中心に半年かけて実行委員が選び、監督を招き対話の場を必ず設ける。手作りの運営システムはどのように育ってきたのかをお話します。

10/8(土)

商店街メディア —ハッピーロード大山商店街の事例をもとに—

講師：牛山 佳菜代（うしやま かなよ） 目白大学メディア学部教授

目白大学メディア学部教授、博士（コミュニケーション学）。専門は地域メディア論、メディア・コミュニケーション論、インターンシップ。CATV局コミュニティチャンネル制作担当、シンクタンク研究員を経て現職。日本ビジネス実務学会2018年度全国大会奨励賞受賞。日本出版学会理事。著書に『地域メディア・エコロジー論』（芙蓉書房出版、2013）など。

コロナ禍で多くの商店街が打撃を受ける中、「地域コミュニティ機能」への期待と共に、商店街の魅力を伝え、住民との絆を深める情報発信の必要性が高まっています。今回は、板橋区にあるハッピーロード大山商店街で放送開始10年目を迎えたインターネットテレビの事例を取り上げ、商店街のメディア活用の取り組みと今後の可能性について考えていきます。

10/22(土)

コロナ禍と市民メディア —みらくルTVの事例をもとに—

講師：兼古 勝史（かねこ かつし） 放送大学千葉学習センター客員准教授

北海道生まれ、千葉大学大学院教育学研究科修了。ラジオ放送局ディレクター、テレビ放送局プロデューサー、インターネットニュースサイト映像記者等を経て、現在、放送大学千葉学習センター客員准教授の他、武蔵大学他で、メディア社会学からサウンドデザイン、音楽教育までの講義等を担当。ローカルメディア研究、サウンドスケープ研究などが専門。

2020年1月から始まった新型コロナ・パンデミックは、私たちのコミュニケーションスタイルを大きく変えました。オンライン双方向ビデオツールによる授業や会議、集いが日常となり、誰にも身近に必要なスキルとなりました。コロナ禍に生まれたZoomによるweb放送局「みらくルTV」の事例を通して、コンテンツやメディア、市民社会の未来を考えます。

お申し込み・受講に関するご案内

PC専用申し込みサイトより
お申し込み

▼
<https://web.634.co.jp>

FAX、メール、郵送によりお申し込み

▼
下記の①～⑥を明記の上、申し込み先まで送信(郵送)してください。

- ①第74回公開講座「地域でつくる／地域をつくるメディア」
- ②氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所
- ④電話番号 ⑤FAX番号(ある方)
- ⑥申込区分(一般、本学在学学生父母、本学園卒業生、本学在学学生、高校生) ※本学在学学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、研究生、練馬区特別履修生を指します。

●個人情報の取り扱いについて

武蔵大学公開講座受講者の個人情報は、本学の個人情報保護指針に従って厳重に管理し、武蔵大学公開講座の運営並びに本学からの各種講座のお知らせ及び統計的集計を行う目的以外に使用することはありません。各種講座の案内送付は、当該業務の委託を受けた業者(以下「委託業者」という。)において行います。武蔵大学公開講座受講者の個人情報は本学が明示する用途のみに使用し、委託業者にはその委託業務を越えた利用はありません。また、委託業者に対しては、個人情報が、漏洩・流出することのないよう厳重な管理を義務づけます。今後、本学からの各種講座の案内を希望されない場合は、お手数ですが、武蔵大学 大学庶務課(03-5984-3713)までご連絡ください。

●注意事項

- (ア) いったん納入された受講料は原則お返しできません。
- (イ) やむを得ない事情により、講師の変更、講義を延期または中止することがあります。
- (ウ) 緊急(休講等)の連絡をすることがありますので、申し込み後、住所あるいは電話番号等の変更があった場合には、速やかにご連絡ください。
- (エ) 本学には駐車スペースがありませんので、お車・バイク等でのご来場はご遠慮ください。

※本学在学学生、高校生の方は、当日学生証または生徒証をお持ちください。
 ※お申し込み時点で定員に達している場合は、こちらからご連絡いたします。
 ※携帯電話でメールを送る場合、ドメイン指定受信をしている方は、申し込み先アドレスを受信するドメインに設定してください。
 ※お申込後、「受付票」は8月26日頃発送いたしますので、当日お持ちください。

お問い合わせ
お申し込み先

(株)武蔵エンタープライズ (講座当日は会場対応のため閉室しております)

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1 (武蔵大学内) TEL : 03-5984-3785
FAX : 03-5984-3787 E-mail : kouza@musashi.ac.jp URL <https://web.634.co.jp>

